

平成 24 年度 研究紀要

研究テーマ：探究力・活用力が発揮される生活（1 年次）

# 「透明」 透ける・透かす・透きとおる



お茶の水女子大学附属幼稚園



「透明」透ける・透かす・透きとおる

はじめに

お茶の水女子大学附属幼稚園は、今年度は「探究力・活用力が発揮される生活」というテーマのもとに研究を遂行いたしました。

この研究を行うにあたり、より具体的な考察を進めるために、園児たちの日常生活の中で「透明なもの」が果たす役割に着目しました。そしてそれをめぐる子どもたちの好奇心や感性がどのように発現するのかを観察しました。

「透明なもの」とは確かに不思議で刺激的です。それは存在すると同時に存在しない（ように見える）ものです。また無色透明であると同時に、そのことによって、あらゆる色に染まることができ、また映し出すことができます。このような両義的な存在に焦点をあてたことが本研究の出発点において特に重要なことでした。

しかしながら「透明なもの」といっても実は多種多様です。この研究でも指摘されているように「ビニール袋」、「ペットボトル」、「水」、「セロハンテープ」、「透明ボード」など形状も材質も用途もさまざまであり、そのそれぞれが異なった仕方子どもたちの感受性や知的好奇心を刺激します。本園の教員たちは、このような具体的な観察を通して、子どもたちの「探究力や活用力」を引き出し、また育てようとしています。どうぞお読みください。

園長 中村俊直

はじめに

I 研究について ..... 4

- 1) 研究の方法
- 2) 子どもの「見る」という行為から
- 3) 「透明」がおもしろい

II 「透明」に着目して ..... 6

- 1) 探究する子どもの姿から  
事例「きれいになあれ、きれいになっちゃえ」
- 2) 園の中の「透明」なものに着目して  
事例「透明」だからこそ引き出されること  
ビニール袋  
ペットボトル  
透明ボード  
セロハンテープ  
水  
透明いろいろ
- 3) 見えないものにイメージを重ねる  
事例「今はこっちに水を入れたってことだね」

III まとめ ..... 20

- 「透明」な素材を手がかりに「探究力・活用力が発揮される生活」について考える
- 1) 「透明」の魅力
  - 2) 「透明」な素材と子どもたちとの関わりを通して見えてきた「探究」
  - 3) 今後に向けて

おわりに



おわりに

「透明」に着目して研究を進めていくうちに、毎日の生活の中にある「透明」が次々に目に飛び込んでくるようになりました。動物園で北極グマを見ていた時もそうでした。展示の仕方が改善されていて以前だったら上から見るだけだったのが、水中での様子が見えるように透明な部分が随所に作られていたのです。飼育係の人が投げた魚を食べようと、水中に飛び込んだ北極グマのしなる体や水泡、水をかく足や足の裏の肉球がすぐそこに見えます。水中に私たちも飛び込んだかのように感じられ、歓声があがりました。

透明になることで、見えなかったものが見えるようになり、面白さがひろがっていく。生活の中にある「透明」に出会うたびに、「透明」の魅力を確認しています。

探究力・活用力が発揮される生活、というテーマで取り組んだ研究の1年目。具体的な子どもの姿を通して考えるという研究姿勢を基本に置きながら、「探究」という言葉と向き合い続けた1年間でした。「探究している子どもの姿」と自分がとらえたことを記録し事例にしました。そのようにして集まった事例は様々であり、事例についての話し合いも毎回違うものとなりました。探究をテーマに考えあう私たちの歩み自体が、「探究」だったようにも思います。

「透明」を切り口として研究していく中で、漠としたものが少しずつ重なり合い、何かが見えてきたようにも思えます。でもそれはまだ兆しのような状態です。今後さらに研究を進めていく中で分かってくるものがきっとある。それを楽しみに研究を進めていきたいと思っています。

研究の始まりから私たちとともに歩んでくださっている本大学准教授浜口順子先生からは、研究会ごとに多くの示唆をいただきました。本大学准教授刑部育子先生からは、研究内容をまとめ、表現していくための具体的なアドバイスをたくさんいただきました。多くの方のご協力のもと、子どもたちの姿や遊びの息づかいが感じられる紀要ができあがりました。「透明」と「探究」の世界を味わっていただければ幸いです。

副園長 宮里 暁美



#### <平成24年度 研究同人>

園長	中村 俊直	副園長	宮里 暁美
教諭	伊集院 理子	教諭	小川 知子
教諭	上坂元 絵里	教諭	佐藤 寛子
教諭	高橋 陽子	教諭	吉岡 晶子
教諭	川邊 尚子	教諭	石川 綾子
養護教諭	小熊 三重子	非常勤講師	鈴木 由布子
非常勤講師	矢崎 朋代	非常勤講師	松島 のり子

平成24年度  
お茶の水女子大学附属幼稚園研究紀要  
探究力・活用力が発揮される生活

—1年次—

平成25年2月8日

発行 お茶の水女子大学附属幼稚園  
〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1  
TEL 03-5978-5881  
FAX 03-5978-5882  
デザイン 岡川デザイン室  
mail@okagawa.jpn.org